

「平成 23 年度神戸大学実験・実習技術研究会」報告

第 2 技術室 森田 俊夫

平成 24 年 3 月 14 日から 15 日、神戸大学に於いて実験・実習技術研究会が開催された。回を重ねるごとに参加者が増え今回は約 500 名の参加があった。開催分野は、1 実験・実習技術分野 (A 情報・電気系、B 機械系、C 建築・土木・農学系、D 化学・医学・理学系)、2 地域貢献技術分野、3 安全衛生技術分野で報告があった。発表方式は口頭、及びポスターで行われた。

報告者は、第 2 室で実施している地域貢献活動の業務を 15 年経たその経緯、及び今までの実績をまとめて報告した。その発表概要を以下に示す。

発表題目 「親子で参加のガラス細工企画」

投稿名 ○森田俊夫、田畑功、岡田文男、脇敬一、安藤誠、宮川しのぶ
佐藤秀左エ門、山田隆昇

概 要 福井大学では以前から地域貢献事業を積極的に進めており、開かれた大学を PR するうえで大変重要である。そこで、97 年に技術業務の特色を生かし「ガラス細工を体験」というテーマのもと技術部で企画出展し、さらに 01 年から児童・生徒を対象に「ガラスの溶ける・のびる・曲げるを体験」というテーマで企画した公開講座を開催した。夏休みの 2 日間 (現在は 1 日間)、親子で参加し、ガラス作品を受講者自身で作製した。

これらの企画は電子レンジ・加熱炉を使って、ガラス片から箸置き・ガラス玉等を、バーナーを利用してガラス棒・管からかきまぜ棒等を作製している。

今回まで 15 年を経過したが、材料選び、作品づくり等に試行錯誤して現在に至っている。これまでの作品について特徴を説明しながら報告する。

次に、今回の開催要項を以下に示す。

1. 開催目的

本研究会は、国立大学法人 神戸大学が主催する国立大学法人、独立行政法人

国立高等専門学校機構および大学共同利用機関法人の技術職員が、日常業務で携わっているものづくりを含む「実験・実習」、「地域貢献」、「安全衛生」等に関する広範囲な技術的教育研究支援活動について発表する研究会です。発表内容は、通常の学会とは異なり、日常業務から生まれた創意工夫や失敗談も重視し、技術職員の技術力向上と交流を図ることを目的にしております。

2. 参加資格

国立大学法人、独立行政法人国立高等専門学校機構および大学共同利用機関法人に所属する技術職員。それ以外で参加を希望する方はお問い合わせ下さい。

3. 開催分野

(1) 実験・実習技術分野

日常業務で携わる実験・実習および技術研鑽に関する知識・手法や創意工夫、研究成果等。分類は以下の4つの系分野。(A) 情報・電気系 (B) 機械系 (C) 建築・土木・農学系 (D) 化学・医学・理学系

(2) 地域貢献技術分野

教育研究分野での技術活動や出前授業・ものづくり・地域への各種イベントへの参画等の地域貢献・社会貢献における技術的教育・研究支援活動。

(3) 安全衛生技術分野

日常、業務をしている研究室・実験室・実習工場等において、環境や安全管理のための安全衛生管理技術や転倒防止策措置、作業環境測定業務等に携わっている技術的支援活動。

4. 特別講演

講師：陰山聡教授（神戸大学 大学院システム情報学研究科）

演題：スーパーコンピュータとバーチャルリアリティによる地磁気研究

5. 開催日時

平成24年3月14日（水）11時 ～ 15日（木）15時10分

6. 開催場所

国立大学法人神戸大学 六甲台第2キャンパス、六甲台第1キャンパス
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1 TEL: 078-881-1212（大代表）

【開会式・特別講演】

出光佐三記念六甲台講堂（六甲台第1キャンパス）

【口頭発表】

工学研究科（六甲台第2キャンパス）

【ポスター発表】

神戸大学百年記念館：六甲ホール（六甲台第2キャンパス）